



# NEWS LETTER vol. 4

※当委員会は、新型コロナに代表される感染症や自然災害の調査・検証、復旧・復興、防災対策等を目的として設置された特別委員会です。適宜情報提供を行って参ります。

## ◆感染症は防げる～基本的な対応が重要

新型コロナウイルス感染症が確認されて2年。当特別委員会では、新型コロナウイルスに対する関連情報を「NEWS LETTER」等を通じて発信してまいりました。ウイルスの流行は繰り返され、また新たな変異ウイルスの脅威が増えています。

しかし、基本的な感染対策(①密閉空間、②密集場所、③密接場面)という3つの条件の回避、マスクの着用、手洗い等の手指衛生を行うことで、感染はほとんど防止できます。

コロナに対する警戒は必要ですが、やみくもに恐れることからは何も生まれません。正しい情報を取り込んで、正しく警戒して、ウイズコロナ(コロナと共存)の時代を、工夫しながら、乗り越えていきましょう。



## ◆自然災害に対する備え

〈自然災害から命を守るため、知っておいて欲しいこと〉



昨今頻発している地震および風水害についても、当委員会では対応チラシを配布するなど情報を発信いたしました。

地震、津波、台風、洪水など、待たなしでやってくる自然災害に、地域みんなの力を合わせて立ちむかうために、私たちはどのような「備え」をすればよいのか、一緒に考え、行動することが重要です。内閣府が推奨している、災害被害を軽減「7つの備え」は、大掛かりな準備や多額のお金を必要とするものではありません。日ごろのちょっとした工夫・備え(気づき)があれば、災害被害を軽減することができるのです。

「7つの備え」は、以下の7つのポイントからなっています。

- ①自助、共助 ②地域の危険を知る ③地震に強い家 ④家具の固定
- ⑤日ごろからの備え ⑥家族で防災会議 ⑦地域とのつながり

事前にこれらの知識や情報を共有し、対処方法を相談しておけば、いざという時に冷静に行動することができるでしょう。

## ◆防災情報の総合窓口「防災ポータル」の活用を！

「防災ポータル」は、国土交通省が開設しているもので、国土交通省や各関係機関、地方公共団体など様々な防災・災害情報を一元化し、「日頃から知ってほしい情報」と「災害時、見てほしい情報」に整理したポータルサイトです。

自然災害に備えるには情報が大切です。「防災ポータル」を入口にすれば、様々な自然災害や、事前事後に役立つ様々なウェブサイトやアプリに簡単にアクセスできます。

是非、PC、スマートフォンの「お気に入り」に加えておきましょう。

### 日頃から知ってほしい情報

- 🚨 被害想定
- 🏠 身の守り方
- 🗺️ 路線情報
- 👥 私たちの取り組み

### 旅のお供！お役立ち情報

- 📍 観光情報
- 🗺️ 路線情報



関係機関の  
情報提供ツールを  
一元化

### 災害時、見てほしい情報

- 🚨 被害状況
- 🌤️ 気象状況
- 🏃 逃げるための情報
- 🚚 交通・物流情報
- 👥 被災者支援情報
- 📍 安否情報
- 📺 ライフライン情報
- 🗺️ 地域の情報



🔍 防災ポータルを  
チェック  
活用しよう！



防災ポータル

# 災害時お金の引き出しに通帳と印鑑以上に大切なものは？

## ●本人確認ができれば引き出し可能

大規模災害が起きたとき、日本銀行は被災地の金融機関に対し「災害時における金融上の特別措置」を要請します。これを踏まえて金融機関は、印鑑や通帳がない被災者に対しても預金の引き出しをするよう、柔軟に対応をすることになっています。基本的に本人であることが確認できれば預金の引き出しは可能です。

一番大切なのは「身分証明書」で、運転免許証・パスポート・マイナンバーカード、健康保険証等、顔写真付きの身分証明書のほうがよりスムーズに確認してもらえます。 ※顔写真が無い証明書は2種類必要な場合有り。



～楽しく学んでしっかり備える～

## 横浜市消防局横浜市民防災センター

横浜市民防災センターは、地震などの体験を通じて、誰でも、楽しみながら、わかりやすく防災・減災について学ぶことができる、市内唯一の防災学習施設です。災害シアターや地震シミュレーター、減災トレーニングルームなど、自分を守る方法を学ぶ「自助エリア」、救護や消火といった、助け合うすべを身につける「共助エリア」など、いざというときに役立つ知識を、楽しく学べる自助・共助の中核施設です。

### 【視察に行ってきました！】

2月某日に西委員長と「横浜市民防災センター」行ってきました。

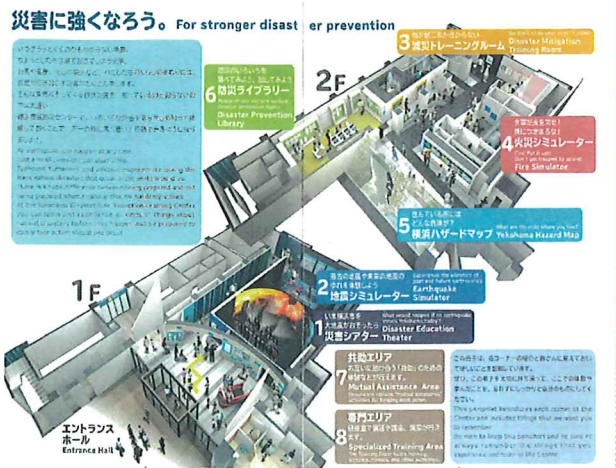
コロナ禍なので事前予約し体験ツアーにも参加しました。入口では厳重な感染対策をし入場、はじめに「防災シアター タイトル々ぐらくる々」を見ました。少し軽いタッチに描かれていると思いきや最後はホロリとくる内容で防災の大切さを感じることが出来ます。

次に「地震シミュレーター」では本当の震度7を体験してきました！！想像以上の揺れで何かに掴まらない限り立ってはいれない・・・また、ガイドさんが言っていた「大地震は30年以内に起こるといことは明日にも起こる可能性がある」と話していたことに深く深く頷いてしまった！

火災シミュレーターでは、実際の消化器の使い方を教えてもらい、煙避難では火災時の行動について学びました。関東大震災では風が強く吹き90%は火災で亡くなったと聞き、火災についてもキチンと勉強しなければと思われました。

最後に減災トレーニングルームでは5人一組でチームでシミュレーションしながら体験させて頂きました。約1時間ほどの体験ツアーですが、考えさせられることや直ぐにでも準備をしなければならないことを学ぶことが出来、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。このことは家族や会社の同僚とも一緒に考える良い機会となります。是非、大切な方と一緒に体験してみても？

感染症及び災害対策特別委員会 (INDI) 高橋直人



【場所】横浜市神奈川区沢渡 4-7  
 電話 045-411-0119  
<http://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/>  
 料金 入場無料 開館/閉館時間 9:15 ~ 17:00  
 休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は開館、次の平日が休館)

【後記】コロナ禍の中、特別委員会が設置され2年が経過しました。委員会の性質上、会議は実験を兼ねてほぼオンラインで行って来ました。災害被害を最小限に抑えるためには、私たち一人ひとりが防災、減災に対する意識を高め、事前対策を行っておくことが重要です。その想いで会員の皆様に情報提供を適宜おこなってまいりました。会員各位の防災、減災活動の一助になれば幸いです。(委員会一同)



### ■感染症及び災害対策特別委員会(INDI)

- 委員長 西 健太郎 (株)トラディッシュ
- 副委員長 高橋 直人 イデア(株)
- 委員 木村 彰宏 東栄商事(株)
- 委員 山口 直子 トラントラスト(株)
- 委員 佐藤 洋一 (株)J'sハウジング